



夏休みは、子どもたちがそれぞれの家庭や地域で、普段できない様々な体験をできる貴重な機会です。また、先生方にとっては、2学期の学級づくりをじっくり構想することができるタイミングです。子どもたちが2学期のよいスタートが切れるような学級や個々の子どもとのかかわりを考えたり、2学期の行事等を生かした学級づくりについて見通しをもったりして、充実した2学期になるように準備を進めましょう。

<小学校>

『早寝、早起き、朝ごはん+α』の工夫

生活のリズムを崩しがちな夏休み。規則正しい生活を送り、2学期のよいスタートを切れるように、「早寝、早起き、朝ごはん」に+α（プラス・アルファ）の取組を加えることをアドバイスしてみませんか。

（例1）朝の日課をつくる家庭での+αの工夫

- ・植物の観察や水やりをする。
- ・朝刊を読み、地域の話題を家族に伝える。
- ・朝食の準備、片付けを手伝う。



（例2）気持ちよく2学期を迎える+αの工夫

- ・朝学習：休みの課題に早めに取り組む。
- ・朝運動：ラジオ体操など体力づくりをする。
- ・朝清掃：部屋を整え、2学期の準備をする。

興味をもって続けられそうな『+α』を、子どもたちに考えさせて、夏休みを迎えましょう！

学校行事を通して成長する学級をめざして

運動会や音楽会などの学校行事は、学級を大きく成長させる絶好のチャンスです。行事を通して成長する学級づくりに取り組んでみましょう。



- ① 学級の目標と自分の目標を確認する。  
学級の目標やそのための具体的な取組について話し合ったり、自分の行事に向けた思いを模造紙に書いたりします。
- ② 行事に向けた過程を評価する。  
帰りの学活などを使って、自分ができたことや友だちのできたことを発表したり、教師が励ましや認め合いの姿を紹介したりします。
- ③ 行事が終わった後に成長した姿を振り返る。  
学級として、個人として、行事を通して成長したことを振り返り、発表したり掲示したりします。



目標だけでなく、振り返りも掲示して学級の宝としましょう。

<中学校>

文化祭に向けた学級づくりの工夫  
～ポイントは活動に向けた「本気の話合い」～

文化祭が生徒の成長の機会となるように、文化祭の準備に合わせた「本気で話し合う場」を大切にしましょう。

「本気で話し合う場」を支える担任の姿勢

- 見通しをもった時間の確保  
生徒と共に決めたことの実現
- 話し合う内容の焦点化  
様々な願いや思い、姿を学級へ紹介し共有
- 生徒を「本気」にさせる教師の支援  
・「どんな結末にしたいのか」のイメージの共有  
・「仲間と協力し目標を達成すること」の価値の共有
- 合意形成（折り合いの付け方）への助言  
・少数意見も大事にした、ぎりぎりまでの調整



学級集団として、文化祭に向けた活動基盤の形成

感動、達成感、成長の自覚をできる文化祭へ

生徒が感じている困難さに寄り添う学級づくり

◇「困難さを感じている生徒」とのかかわり  
～教師の姿を周りの生徒は見ています～

どの生徒にも得意なことと苦手なことがあります。一人一人みんな違う存在であることを認めてくれている、困っている生徒に丁寧に対応してくれている、そんな教師の姿を生徒たちは見て感じています。教師の温かな対応がよいモデルになり、学級の雰囲気をつくります。

◇分からないときに「分からない」と伝えられる学級の雰囲気づくり

「考え中です」「ヒントをください」等、考えをまとめたり、整理したりするときに活用しやすい言葉を伝えます。そうすることで、生徒は安心して自分の気持ちを伝えることができます。

